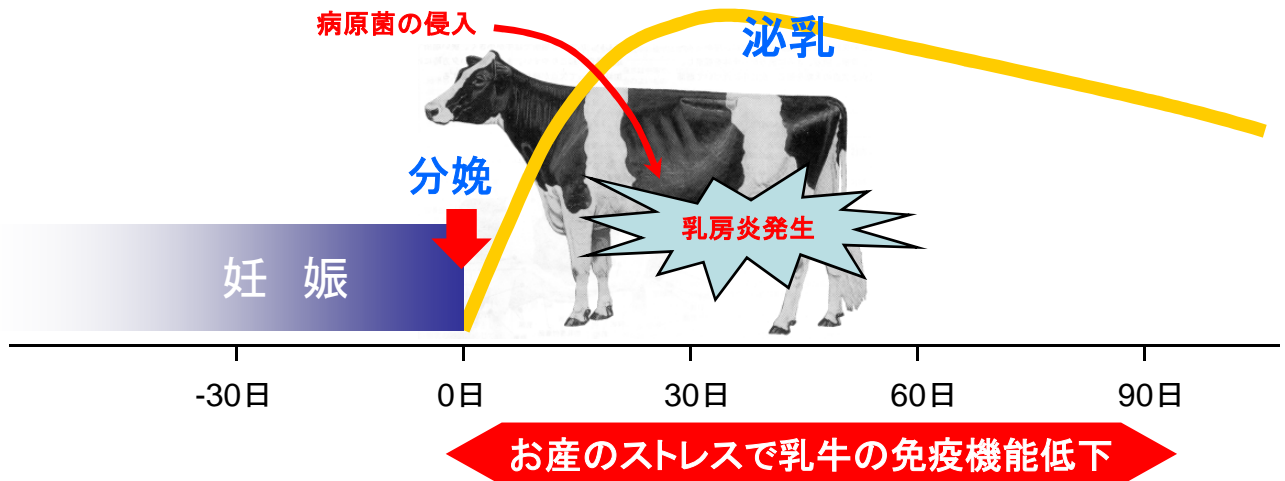


# 微生物培養産物による産後乳房炎の予防

## 【背景・目的・成果】

分娩直後の乳牛は、お産のストレスにより免疫機能が減退しており、病原菌の侵入による乳房炎が発生しやすい状態にあります。

そこで、免疫機能を強化する効果が期待できる乳酸菌や酵母類の培養産物を、分娩前から投与することにより、分娩直後に発症する乳房炎を予防する技術を開発しました。



## 微生物培養産物

土壌由来の乳酸菌1種と酵母類2種からなる微生物群を培養し、その培養液をフスマに吸着後、乾燥させたもの（微生物群は乾燥工程で死滅）。

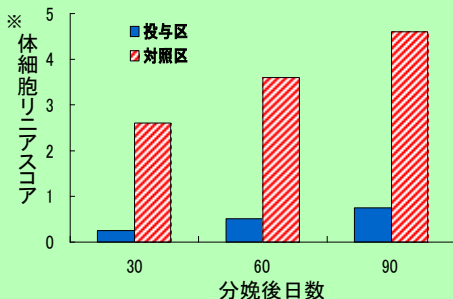
分娩前30日から分娩後90日まで、1頭当たり1日70gを飼料に添加

## 当所における試験結果（平成19～20）

### 乳房炎の予防効果（分娩後90日以内の乳房炎発症頭数）

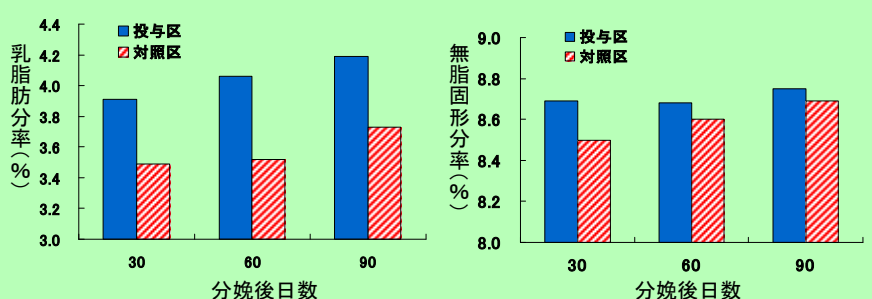
区分	供試頭数	発症頭数
投与区	4	0
対照区	5	4

### 乳中体細胞数の減少



※体細胞リニアスコア：乳汁中の白血球等体細胞数を階層別に示したものの目安として、3～4が潜在性乳房炎（軽度）、5以上が臨床型乳房炎

### 乳成分の向上



## 【技術の活用】

本技術を効果的に活用するためには、乳房炎対策の基本技術（衛生的な飼養環境の保持、正しい搾乳手技等）が励行されることが求められます。基本技術の励行にあわせて本技術の導入を促進します。

兵庫県立農林水産技術総合センター 淡路農業技術センター